

1 建設費が急激に高騰し、先を見通せない状況になってきている

建設資材費等の高騰、労務費上昇、人材不足等の影響により、全国の類似施設の整備事業における入札が不調・不落に終わる事案が複数発生している

2 基本構想を具現化するためには広大な敷地が必要になる（市有地なし）

- 駐車場を確保しつつ、施設を一か所、一体的に整備しようとする2 ha以上の敷地が必要になる
- 新たな敷地を確保する際に用地費及び移転補償費が必要になり、建設費の高騰による移転補償費の増高が懸念される

3 リニア中央新幹線の工期延長に伴い、市の「長期財政見通し」の見直しが必要となる

- 新文化会館の整備は2027年以降としていたが、リニア中央新幹線新駅の土木工事の工期が2031年12月までと延長された
- 新文化会館整備を含め、市の「長期財政見通し」の見直しが必要となる